デジタル粉じん計
使用マニュアル

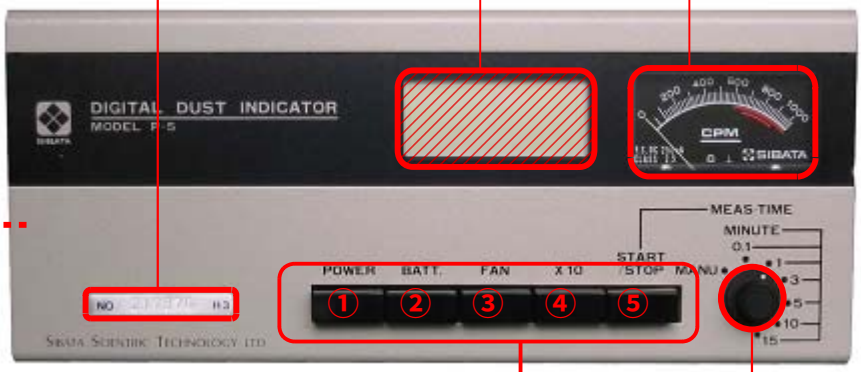
労働福祉事業団
山梨産業保健推進センター

【各部の名称】

感度表示

液晶表示器

レートメータ



【本器：操作部】

〔MEAS．TIME〕
ツマミ

① 〔POWER〕ボタン

② 〔BATT.〕ボタン

③ 〔FAN〕ボタン

④ 〔×１０〕ボタン

⑤ 〔START／STOP〕ボタン

【全体】

出力コネクタ

排気口

アダプタジャック

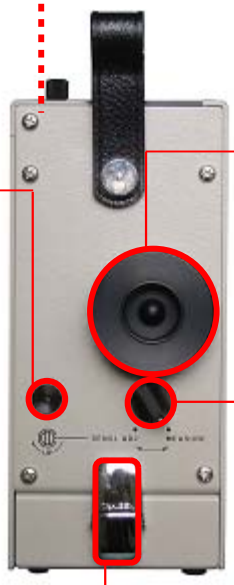
【左側面】

電池ケース止め金具

SENSI．ADJ

吸引口

感度合わせ
ツマミ



【右側面】

１．測定前の準備

① 左右側面の電池ケース止め金具を外します。

② 本体上部を持ち上げ、下部の電池ケースを本体から分離させます。

③ 乾電池（単２型９本）を電池ケースに入れ、分離した本体を戻し、
電池ケース止め金具をとめます。

④〔POWER〕ボタンを押し、電源を〔ON〕にします。
カウンタが〔００００〕と表示されます。

⑤〔BATT〕ボタンを押します。
メーターの針が赤線の範囲にあるかを確認します。

※ 赤線が左端に近い程、電池容量が少ない事を示しています。

⑥ 約３分間そのまま放置し、安定化させます。

⑦ 感度合わせツマミを時計回りに止まるまで回します。

⑧ 約１分間そのまま放置します。

⑨ デジタル粉塵計検査表（粉じん計ケース蓋に付）に記載されている
感度合わせの計数値（S）に合っているかを確認します。

※ 感度が合っていない場合は、トリマー調整を行って下さい。

⑩ 感度合わせツマミを操作⑦と逆方向に止まるまで回します。

２．トリマー調整

①〔FAN〕ボタンが〔OFF〕になっているかを確認します。

② SENSI．ADJを付属の小型ドライバーでゆっくり回し、メーターの針を
調整します。

③〔MEAS．TIME〕ツマミを回し、１（１分）で設定します。

④〔START／STOP〕ボタンを押します。
１分間測定が開始されます。

⑤ 測定値が計数値（S）の±１０カウント以内に入っている事を確認します。

３．測定

①〔FAN〕ボタンを押し、〔ON〕にします。

※ 環境濃度が高くメーターの針が振り切れた場合は、〔×１０〕ボタンを押します。
感度が１／１０になります。

②〔MEAS．TIME〕ツマミを回し、タイマーの時間設定をおこないます。
通常は１（１分間）で設定します。

※ 質量濃度変換係数等を求める時は、時間設定を１０分以上で設定をします。

③〔START／STOP〕ボタンを押すします。
測定が開始されます。
測定中、液晶表示器に〔←〕が表示されます。
測定終了の１２秒前に〔：〕が表示されます。

※ 測定中は、吸引口および排気口を手などでふさがないようにします。

※ 測定を長時間かけて行う場合は、休止中も〔POWER〕ボタンを〔OFF〕にしないで、〔FAN〕ボタンのみを〔OFF〕にします。
また、ときどき感度チェックを行って下さい。

※ 途中で〔POWER〕ボタンを〔OFF〕にした場合は、測定前の準備から再度、始めて下さい。

④ 測定終了。
〔FAN〕ボタンを押し、〔OFF〕にします。

⑤〔POWER〕ボタンを押し、電源を〔OFF〕にします。

※ 相対濃度、相対濃度の質量濃度変換、質量濃度変換係数の求め方等については、別紙の取扱説明書の１２P～１３Pを参照して下さい。

⑥ 測定前の手順と同様に、本器と電池ケースを分離し、乾電池を取り出します。

《このマニュアルを使用されます方へ》
・このマニュアルは、山梨産業保健推進センターの業務上での利用を目的として作成されたものです。
その利用目的外での使用に対し、取扱上で発生することと異なる可能性がありますので予めご了承下さい。
・このマニュアルに関し、無断での二次使用はご遠慮いただきますようお願いします。